

第二期平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画進捗状況管理表【中間目標】

		1.減量化の目標 (g以下)			2.資源化の目標 % (%以上)			3.最終処分量の削減目標 % (%以上)		
		設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況
令和3年度	1市2町	847g	838g	A	101.1%	30.6%	26.5%	B	86.6%	7.7%
	平塚市	849g	831g	A	102.2%	29.5%	25.5%	B	86.4%	
	大磯町	869g	917g	B	94.8%	32.9%	28.5%	B	86.6%	
	二宮町	798g	821g	B	97.2%	39.0%	34.1%	B	87.4%	
達成状況の指標 A:達成 B:99%から80% C:79%から50% D:50%未満										
達成状況の補足										
令和3年度において、1.減量化の目標が達成している要因を補足する。令和3年度においても続く、コロナ禍の経済活動の停滞により、平塚市の事業系一般廃棄物の発生量がコロナ禍前より大幅に減少している。そのため、発生量及び人口が多い平塚市が2町の実績を牽引し、1市2町における目標も達成した。一時的なものと推測されるため、翌年度以降は状況が変化している可能性がある。										

		1.減量化の目標 (g以下)			2.資源化の目標 % (%以上)			3.最終処分量の削減目標 % (%以上)		
		設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況
令和4年度	1市2町	847g	823g	A	102.9%	30.6%	26.0%	B	85.0%	7.7%
	平塚市	849g	818g	A	103.8%	29.5%	25.1%	B	85.1%	
	大磯町	869g	890g	B	97.6%	32.9%	28.1%	B	85.4%	
	二宮町	798g	790g	A	101.0%	39.0%	32.7%	B	83.8%	
達成状況の指標 A:達成 B:99%から80% C:79%から50% D:50%未満										
達成状況の補足										
令和4年度も1市2町の「減量化の目標」を達成したが、コロナ禍における経済活動の停滞の影響を受け、事業系一般廃棄物の発生量が減少している可能性を考慮する必要がある。										

		1.減量化の目標 (g以下)			2.資源化の目標 % (%以上)			3.最終処分量の削減目標 % (%以上)		
		設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況
令和5年度	1市2町	847g	788g	A	107.5%	30.6%	26.2%	B	85.6%	7.7%
	平塚市	849g	782g	A	108.6%	29.5%	25.3%	B	85.7%	
	大磯町	869g	862g	A	100.8%	32.9%	28.0%	B	85.1%	
	二宮町	798g	763g	A	104.6%	39.0%	32.7%	B	83.8%	
達成状況の指標 A:達成 B:99%から80% C:79%から50% D:50%未満										
達成状況の補足										

		1.減量化の目標 (g以下)				2.資源化の目標 % (%以上)				3.最終処分量の削減目標 % (%以上)			
		設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況	設定目標	実績値	達成状況
令和6年度	1市2町	847g	773g	A	109.6%	30.6%	26.1%	B	85.3%	7.7%	19.1%	A	248.1%
	平塚市	849g	765g	A	111.0%	29.5%	25.3%	B	85.8%				
	大磯町	869g	852g	A	102.0%	32.9%	28.0%	B	85.1%				
	二宮町	798g	756g	A	105.6%	39.0%	32.1%	B	82.3%				
	達成状況の指標 A:達成 B:99%から80% C:79%から50% D:50%未満												
達成状況の補足													
令和5年度より、減量化の目標は、中間目標の令和7年度の目標だけでなく、令和12年度の目標も達成した要因として、平塚市で地域を拡大している戸別収集による排出量の減少とコロナ禍で生活様式の変更による影響と考えられるが、1市2町全体で減少傾向が継続している。併せて最終処分量の削減目標も達成されている。													
資源化の目標は、減量化が推進したことに伴い、資源物の中でも古紙類が特に減少していることで横ばい傾向となっていると考慮される。													

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (平成30年度)	中間値 (令和7年度)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		目標値 (令和12年度)
			実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	
①、⑥家庭系ごみに含まれる可燃ごみの割合	66.66%	61.02%	66.85%	B	67.18%	B	66.97%	B	66.97%	B			57.41%
②、⑦事業系可燃ごみの排出量	21,575t	20,925t	19,561t	A	20,218t	A	19,603t	A	18,956t	A			20,925t
③、⑧家庭系ごみに含まれる資源ごみの割合	26.61%	32.10%	26.39%	B	26.69%	B	26.88%	B	26.80%	B			35.35%
④、⑨事業系ごみの資源化量	2,244t	2,500t	1,745t	C	1,749t	C	2,376t	B	2,170t	B			2,700t
⑤年間最終処分量	1,022t	943t	911t	A	552t	A	835t	A	827t	A			924t
⑩適正な処理規模検討施設数	3施設		—		—		—		—		—		5施設
⑪適正な施設配置・運営検討施設数	3施設		—		—		—		—		—		5施設
⑫総排出量	101,252t	95,457t	96,932t	B	94,964t	A	91,332t	A	89,140t	A			90,225t
⑬総資源化量	26,839t	29,230t	25,735t	B	24,699t	B	23,918t	B	23,310t	B			29,340t
⑭処理及び維持管理費 (百万円)	3,167	3,804以下	3,103以下	A	3,225以下	A	3,304以下	A			≤一般廃棄物実態調査結果を反映 【令和8年5月以降】		3,804以下
⑮広域化による二酸化炭素排出量 (t-CO2)	14,485	14,485以下	—		—		—		—		【令和8年5月以降】		14,485以下

KPIの進捗率：A:達成 B:99%から80% C:79%から50% D:50%未満

※令和4年度実績 ⑭国の実態調査後確定、⑮中間改訂の委託にて実施予定

進捗率の補足 削減目標 ①、⑥、②、⑦、⑤、⑫、⑯

進捗率の求め方 実績 ÷ 中間値 (令和7年度) × 100 ※ただし、削減目標の場合マイナス分は表記せず、100%から余剰分を差引いたものが進捗率となる。